

令和 6 年 3 月 26 日
留 萌 開 発 建 設 部

しのめ

東雲排水機場における灯油流出について（第 3 報）

～流出した灯油の除去を開始します～

1 月 11 日に発生した東雲排水機場の敷地内における灯油の流出について、本日 14:00 現在の対応状況をお知らせします。

1 事実関係

流出場所：留萌市東雲町 1 丁目 66-1（別紙 1 参照）

流出物：灯油

流出量：940 リットル（推定）

2 時系列

1 月 11 日（木）11:10 頃 東雲 1 号樋門において油の流出を確認（オイルマ
ットを設置）

1 月 12 日（金）15:30 頃 工事現場事務所内の灯油タンクで灯油流出を確認

1 月 13 日（土）以降 灯油流出範囲を調査（積雪下の地表面など）

2 月 7 日（水）ボーリング調査を開始

3 月 26 日（火）灯油流出範囲を特定

3 流出範囲

灯油流出範囲は別紙 1、2 参照

4 今後の対応

灯油流出範囲に設置した揚水井と釜場を使用した灯油の除去（別紙 2、3 参照）、排水機場周辺の流出状況の監視とオイルフェンスの設置及びオイルマットの交換を継続して行います。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2368

施設整備課 課 長 山本 章博（内線 411）

課長補佐 沼田 和久（内線 412）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式 X（旧 Twitter）アカウント @mlit_hkd_rm



別紙1

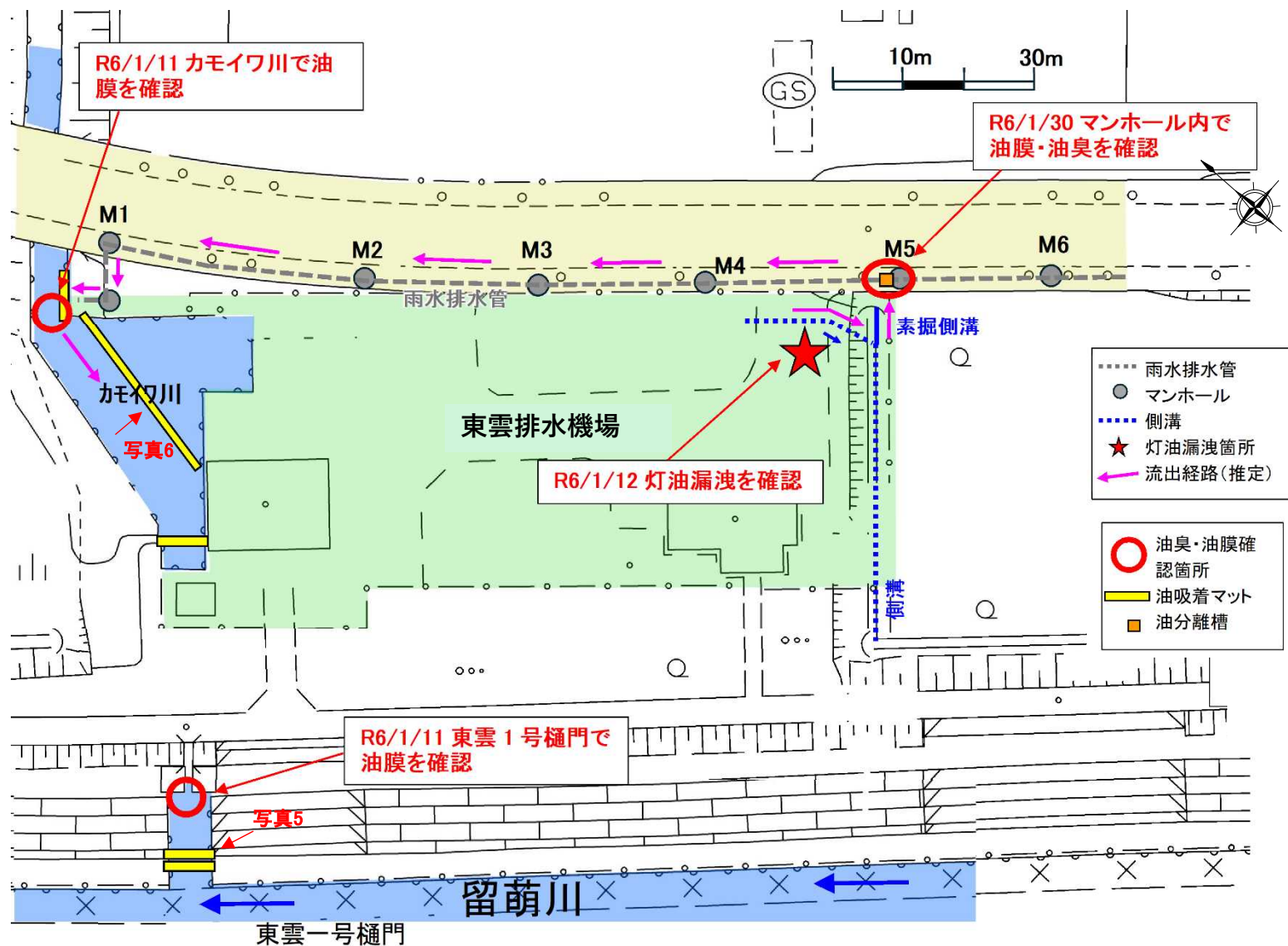


図1 東雲排水機場と灯油流出状況

別紙2

(1) 灯油流出範囲の調査結果

- 流出した灯油は、敷地内U字側溝を伝わり地盤内部に浸透し、M5流入管から流出したと考えられ、地表から深度約1mの層と、深度約3mの2層に灯油が分布していることをボーリング調査等により確認しました。

(2) 灯油の除去方法

- 流出した灯油は、地下水面に沿って薄く層状に広がっているため、深度約3mの層に揚水井、深度1mの層には釜場を設置して、揚水により灯油の回収を行ったうえ、油分離槽により油分を除去します。

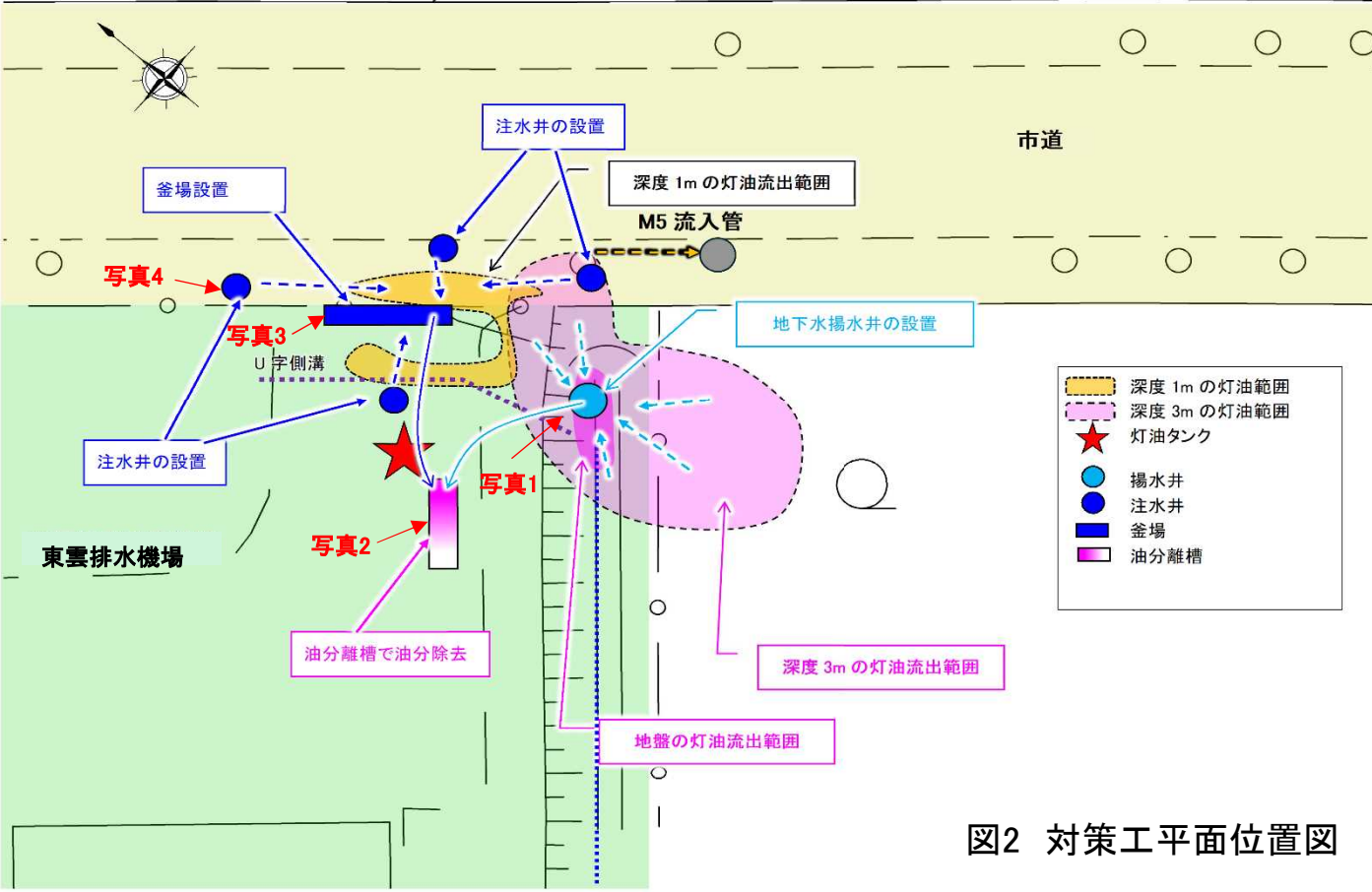


図2 対策工平面位置図

別紙3



写真1 揚水井の設置状況



写真2 油分離槽の設置状況



写真3 釜場の設置状況
(転落防止のため鉄板等設置します)



写真4 注水井の設置状況



写真5 留萌川合流付近
オイルフェンス・オイルマットの設置状況



写真6 カモイワ川オイルフェンス
設置状況